

重点取組名	特区導入による奥出雲町農業の活性化
普及活動担当	島根県木次農林振興センター農業普及部 (現 島根県東部農林振興センター雲南事務所農業普及部)
主要な活動地域・対象農業者	奥出雲町（横田地区国営農地開発地） 農業参入希望企業、NPO法人、開発土地改良区組合員 そば栽培者グループ、ブルーベリー研究会
取組結果・成果 (取組みのねらい)	● 取り組みのねらい 雲南地域の畑作営農の拠点である横田農地開発地では、普及部が主導し構造改革特区による新たな地域農業の活性化策がたてられた。特区では、担い手確保と農村都市交流を図ることとし、農外企業の参入や市民農園の開設に向けた諸計画の策定支援を行う。また、特色ある農産物振興に向けて、開発地を中心にそばとブルーベリーの生産拡大に取り組む。
①活動目標 (実績)	【特区計画の実現】 特区関連諸規定・計画の策定支援 (策定) 【振興作物の生産拡大】 栽培研修会の開催、栽培技術指導 外 (個別実績記載省略)
②成果目標 (実績)	【特区計画の実現】 農業参入法人数 2 法人 (4 法人) 市民農園開設数 1 農園 (未開設) 交流農園計画策定 策定 (未策定) 【振興作物の生産拡大】 そば作付面積 50 ha (60 ha) ブルーベリー作付面積 2.7 ha (2.2 ha)
連携機関、協議会等	奥出雲町
取組の特徴や取組に際しての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・特区に係る諸規定（別段面積の変更、農地農地貸付規定等）を策定した。 ・企業等への農業参入説明会を開催するとともに、農業参入を希望する企業に対して特区制度や支援事業の活用を指導し、地元企業4社の農業参入を実現した。 ・県庁農業経営課（企業参入スタッフ）と連携し、企業参入支援事業の導入を推進した。 ・農業参入企業による大麦若葉等の生産は、県の農業振興プランにも位置づけられており、県内他地域（川本・浜田農林振興センター）と連携した推進体制を敷いている。 ・そばの振興については、開発地を中心にそば在来品種の増産を図ることとし、町と連携し採種ほの設置や栽培研修会の開催に取り組んだ。 ・ブルーベリーについては、生産者の組織化を図るとともに、栽培指導を中心に活動を行った。
【参考】	奥出雲来遠（らいおん）の里づくり特別区域計画 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/kouhyou/041208/dai6/070toke.pdf 奥出雲来遠（らいおん）の里（奥出雲町HP） http://www.town.yokota.shimane.jp/raion/index.html